

KN グローカルリサーチレポート

2022年1月
No.69



令和4年 新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

「地域的な包括的経済連携(RCEP)協定」が発効しました。日本と ASEAN10 カ国に中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランドの 15 カ国が参加する協定で、この地域内で、輸出入にかかる関税の撤廃・削減や、サービス業を行う際の規制の緩和・撤廃、投資環境やビジネス環境の整備などが進みます。

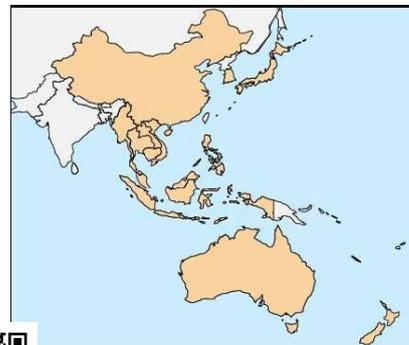
浜松地域の企業にとってもビジネスの拡大が見込まれます。

RCEP の詳細は、経済産業省や外務省のホームページ、JETRO の動画等をご覧ください。

JETROの動画→



図1 RCEP加盟国



経済産業所の資料より

みかん

浜松地域の「みかん」は贈り物としても人気がある。晩秋の「早生みかん」から始まり、今は「青島みかん」の収穫時期である。

【収穫量】

表1は都道府県別の収穫量で、全国の収穫量は減少傾向にある。静岡県は和歌山県に次ぎ第2位で、2020年は約119,800トンと全国の約15%を占めている。

【結果樹面積】

表2は都道府県別の結果樹面積で、全国の結果樹面積は減少傾向にある。静岡県は和歌山県、愛媛県に次ぎ第3位で、2020年は約4,990haと全国の約13%を有している。

【静岡県】

静岡県の『ふじのくに「食の都」』ホームページでは、「普通温州みかん」の結果樹面積・収穫量・出荷量は日本一と紹介している(裏面へ)。



表1 みかんの都道府県別収穫量 トン

	2020年	2015年	2010年
1. 和歌山	167,100	160,200	152,300
2. 静岡	119,800	101,200	106,100
3. 愛媛	112,500	120,600	115,800
4. 熊本	82,500	74,800	81,700
5. 長崎	47,600	53,500	54,200
6. 佐賀	44,900	45,100	45,100
7. 愛知	28,300	26,300	25,000
8. 広島	20,800	31,700	26,100
9. 福岡	20,100	22,500	28,300
10. 三重	19,000	19,200	19,700
全国	765,800	777,800	786,000

農林水産省「作物統計調査(果樹)」より作成

表2 みかんの都道府県別 結果樹面積 ha

	2020年	2015年	2010年
1. 和歌山	6,850	7,280	7,500
2. 愛媛	5,540	6,000	6,720
3. 静岡	4,990	5,320	5,470
4. 熊本	3,650	4,090	4,430
5. 長崎	2,690	3,110	3,390
6. 佐賀	1,950	2,410	2,700
7. 広島	1,720	2,020	2,440
8. 愛知	1,180	1,290	1,310
9. 福岡	1,140	1,340	1,800
10. 神奈川	1,080	1,210	1,340
全国	37,800	42,200	46,100

農林水産省「作物統計調査(果樹)」より作成

表3は、みかん生産上位県の品種別の状況である。見比べると各産地の特色がわかる。

表3 2020年のみかんの品種別の状況 ha、トン

	普通温州		早生温州		うち極早生		うちハウス	
	面積	収穫量	面積	収穫量	面積	収穫量	面積	収穫量
静岡	3,660	86,000	1,330	33,800	220	5,460	17	697
和歌山	2,750	66,600	4,100	100,500	880	20,100	12	482
愛媛	2,250	47,300	3,290	65,100	927	16,300	22	796
熊本	1,210	28,100	2,440	54,400	810	18,100	11	553
愛知	404	7,800	773	20,500	15	251	83	4,370
佐賀	680	13,700	1,270	31,200	722	14,100	120	6,500

農林水産省「作物統計調査(果樹)」より作成



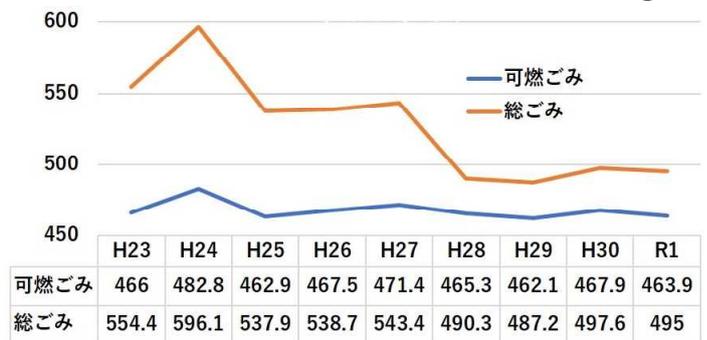
前述の通り、「普通温州」の収穫量等は静岡県が日本で、収穫時期が1～2月の『青島温州』を中心に生産されている。

和歌山県は「早生温州」が多く、『ゆら早生』や『田口早生』などの品種がある。愛媛県は、「早生温州みかん」を主に「いよかん」や「デコポン」、「レモン」等の柑橘類の生産が多い。熊本県の「極早生」は9月下旬から収穫が始まる。「ハウスみかん」は佐賀県と愛知県で多い。

家庭ごみ 市民一人1日の排出量 約500g

前月の本ニュースレターで、浜松市内の家庭ごみの総排出量は140Kトンで推移しているとお伝えしたが、市民一人1日当たりの家庭ごみの排出量は図2の通りで、「可燃ごみ」はここ数年約460g前後と変わっていない。「総ごみ」は「連絡ごみ」が有料となったH24～H25は減少したが、H28年以後は約500g程度と横ばいになっている。

図2 浜松市内の家庭ごみ一人1日当たりの排出量 g



浜松市環境審議会 第2回の資料より作成

*総ごみ＝可燃ごみ＋連絡ごみ＋資源ごみ(ビン、カン、プラ等)

【お役立ち セミナー】

○イノベーションセミナー「まちづくりに学ぶイノベーションの視点」

- ・講師 関東学院大学 准教授 牧瀬稔 氏
- ・日時 1月22日(土) 10:00～11:00 無料
- ・会場 オンライン によるリモート開催 先着20名
- ・主催 浜北商工会「イトリエ」



執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士
 浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org